

第2B（中）分科会 一子どもの発達に関する課題一

提案主題 地域に信頼され笑顔あふれる学校づくりにむけた教頭の役割
～心と体を鍛え、知恵を育む学校独自の取組を通して～

司会者	佐伯市立佐伯南中学校	永井卓
提言者	佐伯市立佐伯城南中学校	井原伸一郎
助言者	佐伯市立蒲江翔南中学校 校長	染矢博史
記録者	佐伯市立鶴谷中学校	上田雄一

1 協議の柱

- ① 確かな学力・確かな授業力をつけるために教頭としてどのように関わればよいか。
- ② 心の教育を充実させるために教頭としてどのように関わればよいか。
- ③ 安心できる生活環境づくりのために教頭としてどのように関わっていくか。
- ④ 積極的な情報発信をするために教頭としてどのように関わっていくか。

2 協議の実際

- ① 確かな学力・確かな授業力をつけるために、互見授業を充実させたり、ICTを活用した授業で授業改善を図ろうとしたりする取組が実践されている。互見授業については、『強化週間』を設けている学校もあるが、なかなか広がっていかない現状もある。ICT活用については、教員によって偏りがある。IT支援員が配置されているかどうか大きく影響する。
- ② 心の教育を充実させるために、Hyper-QUを用い、特に要支援群の生徒に対して全教職員で共通理解を図りながら改善策について取り組んでいる。学校で組織的な取組がなされている。
一方、人権・同和教育の取組が弱いところがあったり、道徳の授業が不十分であったりする。特別支援教育に視点をあてた学校運営と教育相談を充実させるなどの個に応じた指導を行うといった、マクロ的取組とミクロ的取組のバランスを考えた学校運営が重要である。
- ③ 安全安心な環境作りのために、防犯カメラや保護者や地域安全安心パトロール隊との連携を図るなど危機管理に取り組んでいる。一方、PTAからカメラ設置に関して反対意見が出された学校もある。地域の特性もあるので、様々な取組を考える必要がある。
- ④ 地域に信頼される学校づくりを行うために、インターネットでのホームページ更新やフェイスブックを用いるなど積極的な情報発信を行っている。地域（校区）コーディネータは、学校と地域の人材を結びつけてくれる貴重な存在。もっと活用する必要がある。

3 指導助言

<成果>

校長が設定した学校教育目標の具現化に向けて、教頭だけでなく教務主任や生徒指導主事・研究主任などの主要主任が組織的に動いていること、「芯の通った学校組織の定着」に向けての取組が推進できている。ミドルリーダーが機能し、組織としてあたり前のことをきちんと推進していくことの重要性をよく理解しており、それを実行していこうとしている。特に、生徒指導に関して、職員集団が一枚岩になって取り組むことが重要であるが、佐伯城南中は生徒指導主事や教務主任が実施計画を検討するなど組織的な取組ができています。また、学力も定着してきており、成果も上がってきている。（心の教育の面でも）日常からの地道な実践ができています。

「芯の通った学校組織」は「心のかよった」学校組織ということが出来る。「芯の通った学校組織」を学校全体として真摯に取り組んでいることがうかがわれた。課題等も多いと思うが、多忙な中での取組ご苦労様でした。